



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札  
コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 親松 和史 TEL 011-633-1030  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	209,163	5.1	2,376	△11.5	2,941	△9.0	1,805	△25.9
2023年3月期第3四半期	199,071	5.3	2,685	26.0	3,232	20.8	2,436	18.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,669百万円 (△4.0%) 2023年3月期第3四半期 2,781百万円 (41.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	82.90	—
2023年3月期第3四半期	109.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	151,878	59,301	39.0	2,755.76
2023年3月期	137,937	57,443	41.6	2,614.23

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 59,287百万円 2023年3月期 57,429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	△0.8	2,600	△1.1	3,100	△20.3	2,000	△26.7	91.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	24,400,000株	2023年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,885,926株	2023年3月期	2,431,862株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	21,782,781株	2023年3月期3Q	22,164,436株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和が一層進み、経済活動が正常化する中、緩やかに持ち直していく動きが見られます。しかしながら、地政学リスクの高まりや円安、さらに物価や労務費高騰の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループでは、道内各エリアで重要施策である「エリアサミット」を定期開催しております。これは社長はじめ各事業会社の拠点責任者が一堂に会して、地域課題を共有し、各社協働で取り組むアイデアを検討するなど、地域に根ざした具体的な価値創出を図るものです。

また、薬局事業の株式会社そえるでは11月に札幌市地下歩行空間にて、「あなたのからだを支えるプロジェクト」を開催し薬剤師の仕事や、病気・栄養に関するミニ講座を開き、健康に関する情報の提供をいたしました。

12月には、一般社団法人ヘルスケア・ロボット協会が主催する「第7回ヘルスケア（医療・介護分野）ロボット展」が札幌市にて開催され、グループ企業の株式会社マルベリー、株式会社竹山、株式会社アドウィックが出席企業として参加し、AIを始めとする様々な分野の最新技術を活用したロボットなどの情報提供を行いました。

以上の状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,091億63百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は23億76百万円（同11.5%減）、経常利益は29億41百万円（同9.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年度は投資有価証券売却益が4億8百万円あった一方、当期は投資有価証券評価損として1億22百万円発生した影響などにより18億5百万円（同25.9%減）と大幅減益となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### （医薬品卸売事業）

医薬品卸売事業におきましては、2023年4月に薬価改定が実施されたことにより厳しい市場環境が続いています。また、長期収載品の売上減少に加え、後発医薬品における供給面での混乱が未だに継続している状況です。このような厳しい環境ではありますが、新型コロナ治療薬の売上が増加したことと、抗がん剤など新薬の販売にも積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回る結果となりました。また、利益では、品目ごとのきめ細かい価格管理に取り組みましたが、仕入原価の上昇および新型コロナワクチン物流受託料の減少により減益となりました。

その結果、売上高は1,535億95百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は13億41百万円（同13.5%減）となりました。

#### （医療機器卸売事業）

医療機器卸売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収まり、手術や検査の件数などは回復傾向となったため医療材料の売上は前年度を上回りました。しかしながら備品においては前年度までの新型コロナウイルス感染症対策予算等の減少による影響が大きかったことに加え、4月の診療報酬改定に伴う医療材料の価格交渉などの影響による原価上昇もあり、売上全体では横ばい、利益につきましては減益となりました。

その結果、売上高は489億97百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は9億11百万円（同15.4%減）となりました。

#### （薬局事業）

薬局事業におきましては、5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが「2類」相当から「5類」へ変わったことで患者数が増加したことなどにより、処方箋枚数は前年対比で1.8%増加しております。売上は薬価改定の影響による薬剤料の減少はあるもののほぼ計画通りに推移しております。利益につきましては、前期10月に実施した4社統合の効果もあり大幅な改善となりました。

その結果、売上高は100億95百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は1億13百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

#### （介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員と育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上は安定的に推移しましたが、サービス付き高齢者向け住宅の新棟の開設から間もないことに加え、例年実施されている介護ロボット導入支援事業が、上期から下期へ変更となったことなどもあり減益となりました。

その結果、売上高は31億42百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は2億17百万円（同26.3%減）となりました。

**（ICT事業）**

ICT事業におきましては、IT関連製品の値上げ等マイナス要因が続いておりますが、物販案件は堅調に受注いたしました。しかしながら、開発案件の一部が翌期以降に先送りとなり、売上高は減少いたしました。利益面では、適格請求書（インボイス）制度等の開発案件の受注が増えたことや販管費および製造原価を抑えることができたため、増益となりました。

その結果、売上高は11億64百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は48百万円（同86.8%増）となりました。

**（2）財政状態に関する説明**

当第3四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,518億78百万円（前連結会計年度末は1,379億37百万円）となり、139億40百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が14億49百万円、受取手形及び売掛金が69億56百万円、商品及び製品が26億70百万円、土地が17億13百万円、投資有価証券で12億59百万円増加したことなどによるものです。

負債は925億76百万円（前連結会計年度末は804億94百万円）となり、120億81百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が121億35百万円、繰延税金負債が5億96百万円増加した一方、未払法人税等が4億48百万円、賞与引当金が3億37百万円、役員賞与引当金が48百万円減少したことによるものです。

純資産は、593億1百万円（前連結会計年度末は574億43百万円）となり、18億58百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が12億84百万円、その他有価証券評価差額金が8億47百万円増加した一方、自己株式の取得により3億20百万円減少したことによるものです。

**（3）キャッシュ・フローに関する説明**

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億49百万円増加し、194億72百万円となりました。

**（営業活動によるキャッシュ・フロー）**

営業活動の結果得られた資金は45億26百万円（前年同期比131.9%増）となりました。これは、増加要素として、税金等調整前四半期純利益29億34百万円（同18.9%減）、減価償却費7億97百万円（同0.8%減）、仕入債務の増加121億35百万円（同45.3%増）などがありました。

減少要素として、売上債権の増加68億98百万円（同15.2%増）、棚卸資産の増加26億79百万円（同3.7%増）、賞与引当金の減少3億37百万円（同31.4%増）、未収入金の増加2億12百万円（前年同期は2億72百万円の減少）、法人税等の支払12億51百万円（前年同期比3.9%減）があったことによるものです。

**（投資活動によるキャッシュ・フロー）**

投資活動の結果使用した資金は22億11百万円（前年同期比158.2%増）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得により22億69百万円（同62.0%増）、投資有価証券の取得により93百万円（同24.6%増）の支出があった一方、投資有価証券の売却により41百万円（同93.3%減）、補助金の受取により99百万円（前年同期は補助金の受取はありません）の資金を獲得したことによるものです。

**（財務活動によるキャッシュ・フロー）**

財務活動の結果使用した資金は8億65百万円（前年同期比7.0%増）となりました。これは主に自己株式の取得3億20百万円（同16.6%減）、配当金の支払4億77百万円（同28.9%増）およびリース債務の返済66百万円（同25.0%増）があったことによるものです。

**（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2023年5月15日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,022	19,472
受取手形及び売掛金	54,990	61,946
商品及び製品	17,388	20,059
仕掛品	1	9
その他	7,914	8,143
貸倒引当金	△12	△26
流動資産合計	98,305	109,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,940	9,578
土地	9,914	11,627
建設仮勘定	465	684
その他（純額）	799	800
有形固定資産合計	21,118	22,691
無形固定資産		
のれん	960	878
ソフトウェア	457	474
その他	346	363
無形固定資産合計	1,764	1,716
投資その他の資産		
投資有価証券	15,338	16,597
長期売掛金	94	82
長期貸付金	311	247
繰延税金資産	347	263
退職給付に係る資産	0	—
その他	760	753
貸倒引当金	△104	△79
投資その他の資産合計	16,748	17,865
固定資産合計	39,631	42,273
資産合計	137,937	151,878

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,915	83,135
電子記録債務	2,505	2,420
1年内返済予定の長期借入金	1	2
未払法人税等	693	244
賞与引当金	982	644
役員賞与引当金	138	89
その他	2,347	2,518
流動負債合計	77,584	89,055
固定負債		
長期借入金	14	13
繰延税金負債	1,457	2,054
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	350	324
長期未払金	396	436
資産除去債務	337	338
その他	232	231
固定負債合計	2,910	3,520
負債合計	80,494	92,576
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	41,315	42,600
自己株式	△1,709	△2,029
株主資本合計	52,428	53,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,839	6,687
土地再評価差額金	△742	△711
退職給付に係る調整累計額	△95	△80
その他の包括利益累計額合計	5,001	5,894
非支配株主持分	13	14
純資産合計	57,443	59,301
負債純資産合計	137,937	151,878

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	199,071	209,163
売上原価	183,633	193,506
売上総利益	15,438	15,656
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	806	867
給料及び手当	6,608	6,691
賞与引当金繰入額	516	568
役員賞与引当金繰入額	83	89
退職給付費用	265	278
法定福利費	1,085	1,121
賃借料	218	213
貸倒引当金繰入額	—	6
その他	3,167	3,443
販売費及び一般管理費合計	12,752	13,279
営業利益	2,685	2,376
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	273	299
不動産賃貸料	107	107
持分法による投資利益	88	95
貸倒引当金戻入額	17	—
その他	165	180
営業外収益合計	655	685
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	89	84
遊休資産諸費用	11	18
その他	7	17
営業外費用合計	109	121
経常利益	3,232	2,941
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	408	18
補助金収入	—	99
特別利益合計	408	118
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損	22	—
投資有価証券評価損	—	122
特別損失合計	24	124
税金等調整前四半期純利益	3,616	2,934
法人税、住民税及び事業税	923	826
法人税等調整額	254	301
法人税等合計	1,178	1,127
四半期純利益	2,438	1,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,436	1,805

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,438	1,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	328	847
退職給付に係る調整額	14	14
その他の包括利益合計	343	862
四半期包括利益	2,781	2,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,779	2,668
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,616	2,934
減価償却費	804	797
のれん償却額	83	81
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△10
受取利息及び受取配当金	△276	△301
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△88	△95
固定資産売却損益 (△は益)	0	0
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△385	△18
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	122
補助金収入	—	△99
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,988	△6,898
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,584	△2,679
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,352	12,135
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△233	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△256	△337
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△48
未収入金の増減額 (△は増加)	272	△212
預り金の増減額 (△は減少)	106	84
その他	△364	27
小計	2,973	5,472
利息及び配当金の受取額	280	305
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,302	△1,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,951	4,526
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,197	△2,153
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△203	△115
投資有価証券の取得による支出	△75	△93
投資有価証券の売却による収入	610	41
事業譲受による支出	△1	—
貸付金の回収による収入	12	12
補助金の受取額	—	99
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△856	△2,211
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1	△1
自己株式の増減額 (△は増加)	△383	△320
配当金の支払額	△370	△477
リース債務の返済による支出	△52	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△808	△865
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	286	1,449
現金及び現金同等物の期首残高	21,091	18,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,377	19,472

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

## (1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	136,595	48,863	10,198	3,004	362	46	199,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,891	379	9	2	825	1,811	9,921
計	143,487	49,243	10,208	3,007	1,188	1,858	208,993
セグメント利益又は損失(△)	1,551	1,078	△14	295	25	819	3,755

## (2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,755
セグメント間取引消去	△965
のれんの償却額	△70
棚卸資産の調整額	△34
四半期連結損益計算書の営業利益	2,685

## (3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 2 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

## (1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	146,927	48,596	10,085	3,139	369	44	209,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,667	401	9	3	794	1,516	9,392
計	153,595	48,997	10,095	3,142	1,164	1,560	218,556
セグメント利益	1,341	911	113	217	48	516	3,149

## (2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,149
セグメント間取引消去	△669
のれんの償却額	△65
棚卸資産の調整額	△36
四半期連結損益計算書の営業利益	2,376

## (3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

2024年2月3日、当社の一部サーバーにサイバー攻撃による被害が発生していることを確認しました。現在、外部専門家や関係機関と連携の上、影響範囲等の調査およびシステムの保護と復旧に向けて作業を進めています。

なお、当連結会計年度および翌連結会計年度の当社グループの業績への影響については現在精査中です。今後、業績に大きな影響が見込まれる場合は、速やかに開示します。